



## 製品の環境対応

### RoHS指令対象物質の抑制

EU(欧州連合)の電気電子機器含有化学物質使用規制「RoHS指令」により、対象6物質(鉛、六価クロム、カドミウムなど)を含有した製品は、2006年7月からEUで販売できなくなります。沖電気グループはRoHS指令対象物質の全廃に向けた計画のもと活動を推進しています。

#### プリンタのRoHS指令適応

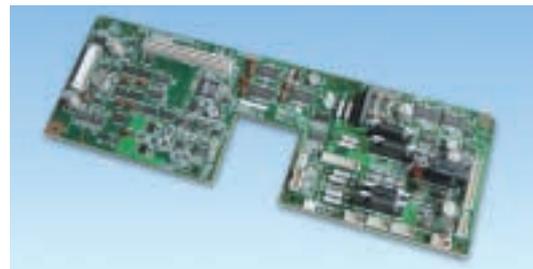
(株)沖データは、EUでの販売比率が高いプリンタ製品に対して、設計、販売部門などで構成するワーキング・グループを設置し、RoHS指令への適応を進めました。サプライヤーへのグリーン調達調査とともに、主要な196部品の含有物質を実測し、RoHS指令対象6物質が含有されていないことを確認しました。2005年度末までに対象30機種のうち13機種の適応が完了し、2006年7月までに対象全機種の適応が完了します。

#### 実装基板の鉛フリー化

1998年度より実装基板の鉛フリー化技術の開発に取組み、新規設計品の国内生産基板について、はんだの鉛フリー化を実現しています。海外生産基板についても、海外ベンダーで鉛フリーの評価を進め、量産を開始しています。

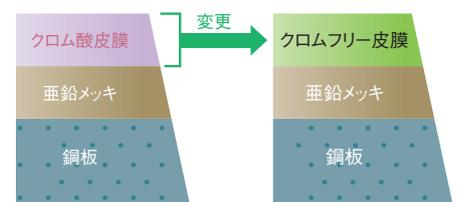


実装基板



#### クロムフリー鋼板

亜鉛メッキ鋼板は、防錆性能を向上させるためクロム酸皮膜中にRoHS指令対象物質の六価クロムが僅かに含まれています。沖電気は六価クロムを含まず防錆性能の優れたクロムフリー鋼板への全面切替を、国内は2002年度末までに、海外の主要生産拠点である中国では2004年度末までに完了しました。



#### 六価クロムフリーネジ

メカトロニクス製品に使用するネジの六価クロムフリー対応を完了しました。主力製品のATMなど精密機器はネジの種類が多いうえ、高い精度の締め付け力が求められます。代替となる三価クロムネジについてネジの特性を評価し、ネジの締め付けトルクを規定しました。また、三価クロムネジを使用した組立作業に対応する作業教育を実施し、六価クロムネジを使用しない生産体制を構築しています。

